

《専門教育科目 専門応用科目》

| | | | | | |
|---------------------------|---|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 環境教育の指導法 | | | | |
| 担当者氏名 | 藤田 敏朗 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2・選択必修 | 開講年次・開講期 | 4年・春期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ○ 専門応用-1 国際社会に貢献できる人材育成 ◎ 専門応用-5 指導・保育の専門性 | | | | |

《授業の概要》

環境問題は環境省、経済産業省、農林水産省、国土交通省、文部科学省等の関係省庁が協力して取り組む問題である。その中でも文部科学省が主になって取り組む環境教育は持続可能な社会を構築するために重要な位置づけとなっている。この環境教育をどのような取り組むかを指導内容・方法から考える。

《授業の到達目標》

小学校の学習指導要領を踏まえて授業に環境教育を仕組むかを理解できる。
 環境問題を解決するために関係省庁の取り組みが理解できる。

《成績評価の方法》

授業態度 15% レポート・フィールドワークの課題 40%
 評価テスト 45%で評価

《テキスト》

必要に応じて適宜配布する。

《参考図書》

小学校・中学校指導要領 (文科省) 平成29年告示
 幼稚園教育要領 (文科省) 平成30年3月
 環境教育指導資料小学校編 (国立教育施策研究所) 平成19年
 環境教育 (日本環境教育学会編) 2012年
 環境白書 (環境省) 令和2年

《授業時間外学習》

予習・復習の内容・方法は授業時適宜紹介する。

《備考(教員経験の有無)》

この教科は小学校の教員経験に基づき構成しています

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容 |
|----|-------------------------|---|
| 1 | オリエンテーション 環境教育を始める前に | 授業の概要、進め方、評価方法など 環境問題の現状を知る。 |
| 2 | 関係省庁の環境教育の取り組み | 環境省、農林水産省、経済産業省、国土交通省の環境教育の取り組みが理解できる。 |
| 3 | 文部科学省の進める環境教育 | 文部科学省の環境課養育の取り組みについて理解し、令和の学習指導要領における環境教育と教育課程との関係について理解する。 |
| 4 | 小学校における環境教育の指導の展開 | 小学校の教科・領域のねらいと環境教育のねらいの整合性をふまえて指導計画を考える。 |
| 5 | 小学校の教科における環境教育の実際① | 小学校の生活科、社会科、総合的な学習の時間における環境教育の指導内容と方法について知る。 |
| 6 | 身近な環境を活用した教材化した環境教育 | 総合的な学習の時間の実践事例として学内のフィールドワーク(植物の二酸化炭素吸収量調査)を行い森林保全について考える。 |
| 7 | 小学校の教科における環境教育の実際② | 小学校の理科、家庭科、道徳における環境教育の指導内容と方法について知る。 |
| 8 | 環境問題を領域から小学校の教育課程を考察 | 環境問題には、大気汚染、自然環境破壊、資源エネルギー等の領域があり、それぞれを小学校のカリキュラムに位置づける方法について考える。 |
| 9 | 地域の中の環境問題に目を向ける | 平野地域における環境問題として大和川の環境汚染について学外フィールドワークを行い学校と地域が協力して環境教育に取り組む方法を知る。 |
| 10 | 環境問題を課題として捉える | 地球温暖化・自然災害・自然環境・エネルギー環境教育などからそれぞれの課題をグループごとで調べる |
| 11 | 小学校の教科における環境教育の実際③ | 小学校社会科、家庭科での廃棄物処理や環境に配慮した教材等におけるリサイクル、リデュースについて理解し実践できる。 |
| 12 | 地域社会と連携した環境教育の実践 | 学校と地域で取り組む環境教育について指導内容方法を理解する。 |
| 13 | 環境教育の全体計画の作成について | 小学校における環境教育の全体計画の作成手順を理解する。 |
| 14 | 幼稚園・中学校・高等学校での環境教育 | 幼稚園・中学校・高等学校で環境教育の実践事例と各校園での環境教育の内容・方法の試案を考える。 |
| 15 | まとめと評価 | 講義のまとめと評価 |